

北九州市が試験焼却実施へ

がれきで市長表明

北九州市は19日、東日本大震災のがれき受け入れに向け、安全性を確認するための試験焼却を実施する方法を固めた。具体的な方法を詰め、環境省と協議する。北橋健治市長が市議会予算特別委員会で表明した。

北橋市長は答弁で「がれきの種類や市民への説明、試験焼却の方法などを専門

家を交えて検討したい」と述べ、前向きな姿勢を強調。最終的な受け入れの可否は「検討の結果を市民や議会に示して判断したい」とした。